



俳優 吉永小百合

「日本政府は憲法を変えて、戦争に参加する道を用意しようとしています。戦争とは、国が人に人殺しを命ずること。どんな戦争にも、正義はありません。核兵器の廃絶と、世界の平和を求めて、みんなのできる限りの行動をしましょう」

核廃絶、世界平和へ 吉永小百合さんも賛同

吉永小百合さんが、護憲・反戦・核兵器廃絶の運動に賛同して、だれもが利用できる画像を公表されました。憲法を生かす会・灘ではこの画像を拡大してスタンディング行動のパネルとして使用させていただきました。政治的沈黙をする芸能人が多いけど、吉永さんはさすがです。大女優ですね。

王子公園を守る裁判 第9回 期日は

3月12日(木) 13:30~
神戸地裁204号法廷

なんでも相談ください

新社会党 灘総支部
078-801-6530
サービス残業、パワハラ、職場のトラブル
NPO 法人 働く人の相談室
078-945-7703

憲法を生かす会・灘

憲法を生かす会・灘のニュースは「憲法さんさん」と改題して発行を再開しました。憲法が燦爛と輝いてほしいとの願いが込められたネーミングです。改題1号(通刊243号)は新社会党灘総支部ホームページからも見ることができます。

衆院選で高市首相は、政策論争の期間を極端に短くし、おまけに大事な党首討論をドタキャン。批判を痛々しさでごまかし、国論を二分する政策の中心も示すことなく「私を信任してほしい」と迫り、国民に白紙委任を求めました。統一協会も裏金も「積極財政、列島を強く豊かに」の後ろに隠しました。

私たちは高市首相に白紙委任をしていない

高市首相は再任後の施政方針演説で「重要な政策転換を何としてもやり抜けと国民から背中を押していただいた」「政権公約を一つ一つ実現していく」と話しました。高市首相は1月の会見で「重要な政策転換は国民に正面から示す」と話していたのに、そのことを示さず、統一協会も裏金も隠して選挙戦に入りました。国民にとって大事な判断材料を隠して得た有利な選挙結果の後に政策転換を示すのは卑怯なやり方です。

自民の比例得票数 2,102万票
得票率は 36.7%

自民・中道の比率 2:1 → 議席 316:49

中道改革の比例得票数 1,043万票
得票率は 18.2%

こんなにも不公平な選挙制度

このように、公約や政策を検討させない抜き打ち的選挙と、上図のような民意を全く反映しない選挙制度によって高市自民党が絶対多数党になりました。しかし、それは「白紙委任」をしたことではありません。高市首相の言う「列島を強く豊かに」から、すべての国民が力強く、豊かに暮らす社会が見えてきましたか。強い軍事力、非核3原則見直し、改憲など危険な動きが見えてきませんか。

3割で 8割攫う(きざう) 民主主義 民意を全く反映しない選挙制度

朝日川柳から

『おはよう新社会党です』 HEADLINE

- 第1329号(1月15日、阪急六甲駅) 米国のベネズエラ攻撃に抗議
- 第1330号(1月22日、王子公園駅) 統一協会、献金、国保追及と逃げ解散
- 第1331号(2月12日、阪急六甲駅) 高市政権に白紙委任したのは
- 第1332号(2月19日、王子公園駅) 被団協結成70年、核廃絶への歩み

おはよう川柳
スイッチは 押して又押しや オフになる
高市氏は総裁選の演説で「働いて×5」で流行語大賞。施政方針演説では「成長のスイッチを押して×5」と。スイッチは押してまた押したらオフになる。

環境アセスメント実施を

王子公園内の王子プールは既に解体。今、解体が強行されている王子スタジアムは有害物質のアスベストが使用されている。周辺は住宅地で保育園、小・中・高、大学、特別養護老人ホーム、児童館等文教地区でもある。大気汚染、騒音、光・風害など様々な環境汚染が考えられることから「環境アセスメント」実施を再三求めてきたが、神戸市や関学は自治会長への個別訪問だけで説明責任を果たしたと言う。許されない。



前市会議員 小林るみ子

ひょうご春闘 始動

春闘は働く人にとって大変重要な闘いです。賃金引上げ・格差是正のために県下の労働組合等が連携して一斉に行動します。パートアクション、ホットライン、賃上げ交渉など。そして、メインのたたかう仲間の集会。ぜひ参加を。

勝ちどき大増上げ 取りもたせ労働者の尊厳
希望は労働組合 闘いをひろげよう

2026兵庫たたかう仲間の集会

3月7日(土)13:30~
中央区文化センター1F 多目的ホール

資料代:500円

- ◆ 闘いの報告
- ◆ 講演テーマ「希望は労働組合! 誰もが尊厳をもって働き、生きられる社会を」
- ◆ 講師 東海林 智 (毎日新聞記者)

東海林 智 (とうかいりん さとし) 1964年山形県生まれ。毎日新聞は福島の社会部記者。一貫して労働と貧困・格差の現場を取材。元新聞労連委員長。著書に『15歳からの労働組合入門』(毎日新聞社)、『争い』(集英社)などがある。第一回賞状ジャーナリズム賞、日本労働ペンクラブ賞を受賞

兵庫たたかう仲間の集会実行委員会
神戸市中央区古渡通1-2-50A1E1ビル3F びょうごユニオン内
TEL078-382-2116/FAX078-382-2124
E-mail: hyougugun@nifty.com

憲法を生かす会・灘

3の日行動

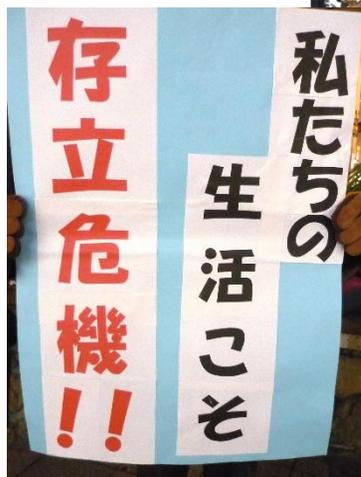
3の日行動は、2015年安倍内閣が進めた安保法制に反対して作家の澤地久枝さんが「アベ政治を許さない」のスローガンを提唱、毎月3日に掲げようという提案で始まりました。

JR六甲道駅北でスタンディング

昨年10月、高市政権が発足しました。アベ後継を自任する高市首相はこれまでの菅・岸田以上に軍拡に前のめりで、軍事費をDGP2%の前倒し、さらにトランプの「3.5%」に応じていく気配です。

突然の解散・総選挙で高市首相は「国論を二分する」(憲法改悪など)ことに白紙委任を求めています。とても容認できるものではありません。

憲法を生かす会・灘は各地の「3の日」行動に呼応して、スタンディング行動を始めました。



次回3の日行動は3月3日、いっしょにスタンディングに参加しませんか。



新たな戦前を許さない! 3.5 兵庫県集会

5・3兵庫憲法集会の成功にむけて
講演テーマ
「衆議院選挙後の憲法問題と
運動の課題を考える」
講師 清水 雅彦さん(日体大教授)

去年は被爆80年、戦後80年として各地で様々な取り組みが行われ、平和憲法が輝くときと確認されてきましたが、憲法を取り巻く情勢は厳しくなっています。新たな戦前にさせないために憲法課題について考えましょう。



とき 3月5日(木) 18:30~
会場 長田区文化センター
資料代 500円
主催 総がかり行動兵庫県実行委員会

① 政府に核兵器禁止の意見書の提出を
2017年7月、核兵器禁止条約」が採択され、

② 原爆被害を後世に伝える活動に協力を
被爆者の平均年齢は86

立川会長は「広島・長崎に投下された原子爆弾は多くの命を奪いました。被爆者はこの惨劇を繰り返さないために核廃絶を訴えてきました。それが評価されノーベル平和賞を受賞しました。核使用の危険が迫るなかで神戸市においても核廃絶のために尽力をお願いしたい」と申し入れを行いました。

今年1月現在、99の国・地域が批准しています。しかし、唯一の戦争被爆国の日本政府が批准しようとはしません。全国の自治体議会の42%が核兵器禁止条約の批准を求めています。神戸市も日本政府に対して「早期批准」の意見書の提出を強く求めます。



神戸市に要請する立川会長(右)

を神戸市の「後援」から「共催」とし、教育委員会から市民、児童・生徒に参加の働きかけを。神戸市歴史公文書館で平和教育への一層の尽力を。

真・絵画展」原爆の悲惨さを後世に語り継ぐことは容易ではありません。原爆被害者の会主催の「原爆と人間写真・絵画展」

爆会「核兵器禁止に向けた取り組みの強化」を神戸市に申し入れ
神戸市原爆被害者の会(立川 重則会長)は1月27日神戸市に対して「核兵器禁止に向けた取り組みの強化を求める申し入れ」を行いました。